

第 95 号  
2026年(令和8年)  
4月発行

# 第40回 井手町解放文化祭

## 議会だより



【特集】令和8年度予算	2P
3月定例会で決まった主なこと	5P
町政を問う	7P
委員会報告等	14P
議会の主な公務	15P
いでたんが聞く	16P

令和 8 年度  
**予算**



いでたんが  
 わかりやすく解説します!

# 井手町のお金

(千円 四捨五入)

「特集」令和8年度予算

3月定例会

町政を問う

委員会報告等

議会の主な公務

いでたんが聞く

入る予定のお金  
 52億 8100万円

## 一般会計

使う予定のお金  
 52億 8100万円

自主財源(皆さまからのお金)

依存財源(国や府からのお金)

皆さまから井手町に納めて  
 いただく税金

特別会計や基金から入って  
 くるお金

その他の収入

国が徴収する税金(所得税・法人  
 税・酒税・消費税・地方法人  
 税)の中から町の財政需要など  
 に応じて交付されるもの

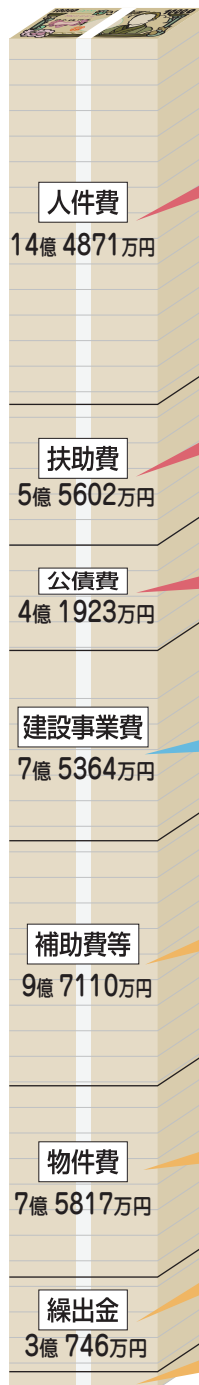
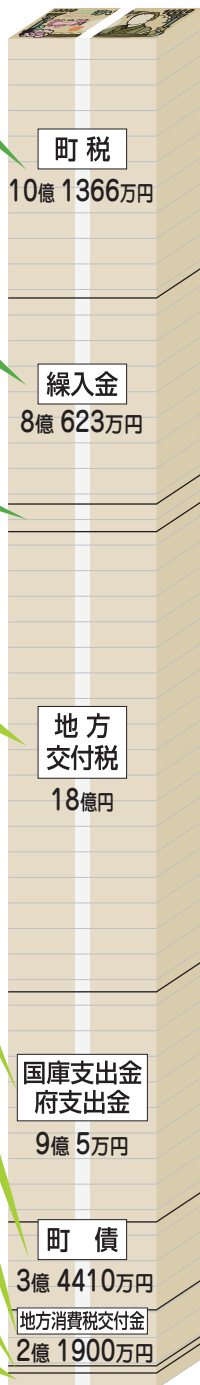
国・府からの補助金や負担  
 金

銀行などからの借入れ(借  
 金)

地方消費税の一部を、府が  
 人口と従業者数で按分し町  
 に対して交付するもの

国が徴収した特定の地方譲与税  
 税目の税収を一定の基準により  
 町に譲与するもの

国・府が一定の基準により、  
 町に対して交付するもの



義務的経費

投資的経費

その他の経費

職員や特別職の給与、議員、  
 会計年度任用職員、各種委  
 員会委員の報酬のお金

障がい者自立支援給付費、  
 児童手当、医療費助成など  
 社会保障関係のお金

町が借り入れたお金の返済  
 に充てるお金

道路や学校、大規模修繕費  
 といった町の資産の形成や  
 災害復旧に使われるお金

町から地方公共団体や民間の団  
 体に対して公益上必要な場合に  
 支払われる負担金や補助金

旅費、交際費、消耗品や備品  
 購入時など消費的性質のお金

一般会計と特別会計相互間  
 において資金運用するため  
 のお金

# 一般会計で実施する主な事業

## 一般会計 52億8100万円

### 豊かな自然と利便性・快適性とが共存する新しいまち

(千円 四捨五入)

#### 1 自然環境を守り育て安全でやすらぎのあるまちづくり

- 防災倉庫整備 1600万円
- 住宅用太陽光発電システム等設置補助 877万円
- 空家等への対策の充実 678万円
- 消防委託料 2億1252万円 等

#### 2 快適な暮らしと豊かな自然を活かしたまちづくり

- 庁舎駐輪場増設 400万円
- 交通安全施設機能強化対策 250万円
- 下排水路改修 3250万円
- 町内道路改良 4億1600万円 等

#### 3 活力のある産業振興と観光・交流のまちづくり

- デジタル技術活用観光案内整備 1000万円
- 片原山林道改良 3400万円
- まちづくり協働加工施設整備 1910万円
- 交流施設等利用促進事業 1001万円 等

#### 4 あすを創造する教育や文化・スポーツをはぐくみ、子ども達がのびのび育つまちづくり

- 多賀小学校外壁改修 6400万円
- 井手町結婚新生活支援事業 125万円
- 泉ヶ丘中学校空調整備 1750万円
- 井手町独自の子育て支援施策 8994万円 等

#### 5 いきいきと安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

- 各種計画策定及び改定 1689万円
- がん検診推進事業 115万円
- 高齢者移動支援補助 700万円 等

#### 6 つながりとふれ合いを大切に、みんなで取り組むまちづくり

- 人権教育・啓発推進計画策定業務 597万円
- 地域力創出プロジェクト 423万円
- ふるさと応援促進事業 760万円 等



椿坂周辺の放置竹林



井手やまぶき支援学校へのアクセス道路



改修予定の多賀小学校外壁

# 令和8年度 会計別予算

(千円 四捨五入)

会 計 名		予 算 額	前年度比
一 般 会 計		52億 8100万円	2.4 %減
特 別 会 計 等	国 民 健 康 保 険	9億 7882万円	0.3 %減
	井 手 町 水 道 事 業	2億 2008万円	5.7 %減
	多 賀 地 区 簡 易 水 道 事 業	4694万円	34.6 %減
	井 手 町 下 水 道 事 業	7億 29万円	0.6 %減
	介 護 保 険	11億 800万円	6.7 %増
	後 期 高 齢 者 医 療	1億 5652万円	1.6 %減
	多 賀 財 産 区	342万円	3.7 %増
	小 計	32億 1407万円	0.7 %増
合 計		84億 9507万円	1.2 %減

## 町長の予算編成方針(要旨)

教育・福祉・防災など、住民生活に直結する施策は後退させず、継続的に推進する。特に喫緊の課題である人口減少対策を最重要視し、国道24号城陽井手木津川バイパスの早期完成、アクセス道路整備、JR奈良線複線化の推進、企業誘致、子育て支援の充実など、住みやすさ向上に向けた施策を強化する。

今回の予算では、本町のよりよい未来を創る事業に重点を置き、庁舎駐輪場増設、空家対策、地域力創出プロジェクト、防犯カメラ整備、カープミ

ラー更新など安全・利便性向上のための施策を計上。子育て支援では、医療費助成、出産応援給付金、保育園運営費、婚姻新生活支援などを充実させるほか、障がい者支援、高齢者移動支援、介護予防事業を継続し、がん検診無料化や若年層の健診促進を実施する。

また、道路整備、下排水路改修、町営住宅改修など、生活基盤の強化のほか、観光振興としてデジタル観光案内整備や特産品加工施設整備も進める。

## 賛成討論

町の発展を目指すための予算となっている  
谷田利一 議員

「豊かな自然と利便性・快適性とが共存する新しいまち」の実現を基本姿勢とし、「6つの柱」からなる基本政策に基づいた予算編成である。

新規事業として、子育て支援の更なる充実を図る「子育て支援課」の新設、保育政策等のあり方を検討する「町立保育園のあり方検討会議」の設置、婚姻に伴う経済的負担を軽減する「井手町結婚新生活支援事業」、観光情報や町からの情報発信強化を目指す「デジタル技術活用観光案内整備」、利用者の声を反映した「庁舎駐輪場増設」など、妊娠・出産、子育ての段階に応じた切れ目のない支援に努め、福祉や教育、環境、防災・減災対策、商工業の活性化や観光復興、人権啓発など、「まちの主人公は住民」との認識のもと、各種団体や住民の声に耳を傾け、着実に町の発展を目指すための予算編成であると高く評価する。

## 討論

一般会計予算賛成で反対で可決

## 反対討論

住民の命、健康、暮らしを守る予算にすべき  
谷田健治 議員

物価高の中、住民の命と暮らしを守る町政が求められている。町内に誰もが利用できる公共交通を求める。「イデカ」は隣町へも行けるように改善を。防災では屋外スピーカーの聞こえにくさの解消のため戸別受信機の配備を。PFAS問題では水道水や井戸水からの検出を重く受けとめ、河川調査を行うべき。国保税は基金が十分あり引き上げではなく引き下げを。子ども・子育て支援金を国保税に上乗せすべきではない。後期高齢者医療制度は、高齢者を別枠の医療保険に強制的に囲い込んで、負担増と差別医療を押しつけるという根本的な矛盾をはらんでいる。子育て支援金を高齢者の医療を確保するための保険料に上乗せすべきではない。介護保険は、国の税制改正で、本来なら引き下げられるはずの介護保険料を前年通りに支払わなければならない人が生じる予算であり反対。介護保険では、国の税制改正で、本来なら引き下げられるはずの介護保険料を前年通りに支払わなければならない人が生じる予算であり反対する。

# 3月定例会で決まった主なこと

## 「子育て支援課」を設置

## 「子ども誰でも通園制度」が開始

3月9日から18日まで3月定例会が開かれ、令和8年度の予算や補正予算などを審議しました。

### 条例制定

#### ●井手町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

令和8年度から開始となる乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるための条例制定。

### 改正した条例

#### ●井手町組織条例の一部を改正する条例

組織の見直しに伴う条

例の一部改正で、令和8年4月から新たに「子育て支援課」を設置するもの。

#### ●井手町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例

子育て教育環境のさらなる充実を進めるための条例の一部改正。

### 令和7年度補正予算

#### ●一般会計（第7回）

補正総額は2520万7000円の追加で、補正後の総額は64億5364万2000円。

#### ●一般会計（第8回）

補正総額は6400万円の追加で、補正後の総額は65億1764万2000円。

### 同意案件

#### ●固定資産評価審査委員

村田 吉男氏

#### ●井手町教育長

中田 邦和氏

#### ●指定管理者選任

◎社会福祉法人 弥勒会  
理事長 清水 純子氏

#### ◎井手町社会福祉協議会

会長 脇田 武勝氏

#### ◎井手町まちづくり協議会

会長 高岡 昭三氏

#### ◎井手町立婦人研修センター

京都やましろ農業協同組合代表理事組合長

十川 洋美氏

### 諮問案件

#### ●人権擁護委員

田中 義信氏

### 意見書

#### 非核三原則の堅持を

#### 求める意見書

### 全員賛成で可決

80年前の広島と長崎にもたらされた惨禍は二度と繰り返してはならず、被爆の実相を後代に伝えつつ、非核三原則を堅持し、「核兵器のない世界」の実現に向けて、着実に努力を積み重ねていくことは、唯一の戦争被爆国である我が国の使命である。

井手町議会では、昭和63年3月に「非核・平和都市宣言に関する決議」を可決し、「井手町は、非核三原則（作らず、持たず、持ち込まず）の完全な遵守を求める。」ことを宣言している。

しかしながら、近年では、国際情勢の緊張化をはじめ、世界の安全保障環境は不透明さを増している。

よって、国におかれては、核兵器のない平和な世界の実現を願うという国民の思いをしっかりと受け止め、非核三原則を堅持されるよう要望する。

# 令和8年3月定例会 議案・議決結果一覧表

審議結果等は次の通りです。(○=賛成 ×=反対 —=欠席または退席) \*奥田俊夫議長は、採決に加わっておりません。

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果	議員名								
				木村健太	谷田健治	鎌田隆宏	小割直彦	田中保美	脇本尚憲	谷田利一	岡田久雄	
議案第1号	井手町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定の件	令和8年3月18日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	井手町組織条例等の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月6日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	井手町印鑑条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月9日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	井手町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	井手町職員の特務勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	井手町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	井手町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月6日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	井手町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月6日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	井手町廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	井手町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月18日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	井手町火入れに関する条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	井手町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	井手町固定資産評価審査委員選任につき同意を求める件	令和8年3月6日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	井手町教育長選任につき同意を求める件	令和8年3月6日	同意	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	指定管理者選任につき同意を求める件(町立デイサービスセンター等)	令和8年3月6日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	指定管理者選任につき同意を求める件(町立老人福祉センター玉泉苑等)	令和8年3月6日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	指定管理者選任につき同意を求める件(町まちづくりセンター椿坂)	令和8年3月6日	同意	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	指定管理者選任につき同意を求める件(町立婦人研修センター)	令和8年3月6日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和7年度井手町一般会計補正予算(第7回)	令和8年3月6日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和7年度井手町介護保険特別会計補正予算(第3回)	令和8年3月6日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和8年度井手町一般会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和8年度井手町国民健康保険特別会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和8年度井手町水道事業会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和8年度井手町多賀地区簡易水道事業特別会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	令和8年度井手町後期高齢者医療特別会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和8年度井手町介護保険特別会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	令和8年度井手町下水道事業会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和8年度井手町多賀財産区特別会計予算	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	財産取得変更について同意を求める件(まちづくり協働施設設備品購入)	令和8年3月6日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和7年度井手町一般会計補正予算(第8回)	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	専決処分の報告について(7 一般会計補正(第6回))	令和8年3月6日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	専決処分の報告について(自動車事故)	令和8年3月6日	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件	令和8年3月6日	意見なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	井手町議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	非核三原則の堅持を求める意見書	令和8年3月18日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「特集」令和8年度予算

3月定例会

町政を問う

委員会報告等

議会の主な公務

いでたんが聞く

# 町政を問う

おか だ ひさ お  
岡田 久雄 議員 (8P)



- ◆ 高齢者の安心・安全のための「緊急時通報装置」
- ◆ 誰もが安心して搾乳ができる環境づくり
- ◆ 成年後見制度の円滑な運用と成年後見人等への送付先住所の一括手続

たに だ けん じ  
谷田 健治 議員 (9P)



- ◆ 家族介護用品購入補助
- ◆ 高齢者に寄り添った安全・安心施策
- ◆ 「プラスチック資源一括回収」

わき もと たか のり  
脇本 尚憲 議員 (10P)



- ◆ 井手町図書館の運用状況と更なる活用
- ◆ 地元同窓会開催における補助金制度導入の考え

た なか やす み  
田中 保美 議員 (11P)



- ◆ 町道19-13号線における交通安全対策
- ◆ 公園の人工芝生化

き むら けん た  
木村 健太 議員 (12P)



- ◆ 若者・子育て世代の定住促進のための「家賃補助」

かま だ たか ひろ  
鎌田 隆宏 議員 (13P)



- ◆ 「非認知能力」向上のための取組
- ◆ 子どものための防災訓練のあり方

井手町  
ホームページ  
会議録集  
QRコード



令和8年6月定例会の  
日程はホームページ等  
でご確認ください。



岡田 久雄 議員

### 緊急時通報装置とは

坂井高齢福祉課長

#### 緊急時に消防署に通報する装置

問 「緊急時通報装置使用料助成」の概要は。

答 高齢者や障がいのある方が緊急事態において、消防署に通報する装置を貸与するもの。

問 対象者の条件は。

答 慢性疾患など注意を要する65歳以上の高齢者、「障害等級1級・2級、療育手帳の総合判断「A」の方の世帯。

問 モバイル型の通報



緊急時通報装置で地域の安心を

装置導入の考えは。

答 導入している自治体の状況などを調査・研究していく。

### 搾乳できる環境を整備する考えは

平間総務課長

#### わかりやすい表示を検討

問 「リトルベビーハンドブック」に対する町の考えは。

答 すくすくブック」の活用状況は。

問 医療機関等からは好評で大変有用だと考

答 医療機関等からは好評で大変有用だと考

問 対象者全てに配布。低出生体重児を育てる方、妊婦や子育て中の不安や悩みを丁寧に対応し、きめ細やかな支援を継続していく。



授乳室は搾乳できるよう整備されています

問 庁舎の授乳室で搾乳ができる環境を整備する考えは。

答 搾乳できる表示を検討したい。

### 成年後見制度の円滑な運用の考えは

坂井高齢福祉課長

#### 整備・充実に取り組み

問 直近の成年後見制度の利用者数は。

答 14名。

問 住民への周知方法は。

答 パンフレットの配架や問い合わせに対する制度説明をはじめ、家庭裁判所への申し立て手順や調整、他の支援機関との連携など、必要な支援を行っている。

問 送付先を一括して登録・変更できる仕組みの導入は。

答 他の自治体の取組

「リトルベビーハンドブック」とは…  
「低体重で生まれた赤ちゃんとその家族のための、特別な母子手帳(副読本)」のこと。

「成年後見制度」とは…  
判断能力が不十分な方に代わって、法律的な手続きや財産の管理をサポートする仕組み。



谷田 健治 議員

### 家族介護用品購入補助について

坂井高齢福祉課長

利用者に寄り添った  
対応となっている

問 家族介護用品給付事業の対象人数は。

答 8名。

問 現物給付する方法以外に、町内ドラックストア等で購入しても、介護用品の給付を受け

られるようにできないのか。

答 紙おむつはかさばること、また領収書を添付し償還払い申請する手間を省くため、本町では現物給付の方法を採用している。

### 緊急時通報装置貸付事業は

坂井高齢福祉課長  
菱本安心安全推進課長

緊急事態に対する  
不安解消を図る

問 65歳以上の独り暮らしの高齢者数は。

答 7名。

問 民生児童委員作成の福祉票集計で470名。

答 戸別受信機の耐用年数や、防災行政無線の更新など課題もある。

問 井手町緊急時通報装置貸付事業を実施している対象数は。

答 緊急速報メールや町ホームページ等、情報伝達の多重化を図っており、ご自身の利用しやすいツールを活用しながら入手して頂くことが、現実的かつ効果的であると考えている。

問 防災無線の戸別受信機について、特に土砂災害警戒区域の世帯や独り暮らしの高齢者

宅に早急に設置すべきではないか。

答 山吹ふれあいセンター14名、多賀小学校16名。

問 住民説明会の場所ごとの参加人数と質問・回答は。

答 回収、取り外せないものは「その他ごみ」となる回答。

### プラスチック資源一括回収について

奥山産業環境課長

町広報で周知・啓発

問 山吹ふれあいセンター14名、多賀小学校16名。

問 小型家電の回収ボックスの設置場所と時期は。

答 金属ネジ付きのおもちゃの回収や電気コードや充電池についての質問などがあり、電気コードや充電池とともに、おもちゃは金属ネジを外せば「小型家電リサイクル」として回

設置場所は役場庁舎、いづみ人權交流センター、賀泉苑の3箇所の玄関スペース。



デジタル簡易無線戸別受信機



「プラスチック資源」として回収



脇本尚憲 議員

### 現時点での図書館の課題は

西島町長  
寺井社会教育課長

### 書籍等の配架を検討

令和6年度 学齢区分別表			
～6歳	129名	23～29歳	113名
7～12歳	683名	30～39歳	457名
13～15歳	52名	40～49歳	757名
16～18歳	39名	50～59歳	1065名
19～22歳	60名	60歳以上	3793名
合計			7148名

**問** 年代別利用者数や来館目的は。

**答** 約7割が本を借りる目的。調べ物、自習や仕事、子どもと過ごすなどの目的で来館されている。

**問** 図書館を活用したイベントや学校・地域団体との連携事業は。

**答** おはなし会や子ども図書館体験会、平和展、水害展、クリスマス

入展示などを実施。様々な年代を対象とした取組も進める。

**問** 図書館を「まちの交流拠点」と位置付ける考えは。

**答** 「集う・学ぶ・つながる」場として、多様な学習機会や活動情報の提供、イベントの開催など「まちの交流拠点」として利用されている。

中長期的なビジョンでは、「道の駅」として認定されれば、図書館を含む施設が更なる「まちの交流拠点」になると考える。

**問** 自習や閲覧のエリアに無料WiFiを設置できないのか。

**答** 他市町村の状況などを参考に、費用対効果も踏まえて検討していく。



同窓会などのイベントでも使用されるテオテラスいで



自習室としても活用される図書館

### 同窓会補助金制度の考えは

高江企画財政課長

### 「Uターン」につながる取組として検討

**問** 「Uターン」希望者や転出者とのつながりを維持するための取組は。

**答** 同窓会等に条件を設けた上で、補助金を交付する制度の導入は。

**問** つながりを維持する取組はないが、移住・定住相談窓口の運営や移住支援金の取組を行っている。

**答** 「Uターン」や「結婚」を考えるきっかけをつくる取組として注目されつつあると認識している。

補助金制度等については、検討したい。



田中保美 議員

## 町道19-13号線の安全対策は

辻井建設課長

地元の同意を前提に  
検討していきたい

問 町道19-13号線の

交通量は。

問 地元住民や利用者

の安全を守るために道  
路や側溝の整備等の対

答 交通量調査等を実

施しております、台数は

不明。

国道24号へのアクセ

ス道路として利用され

ているとの認識。

答 車両が離合できる

よう用水路への蓋掛け

や転落防止のガード

レールの設置などが有

効な対策と考える。

沿道の水利用者の

同意が得られることを  
前提に、幅員や設備、  
構造などを踏まえ検討  
していく。



車両の往来が多い町道19-13号線

## 公園の人工芝生化の考えは

辻井建設課長

コスト・管理の課題から  
慎重に検討する

問 近隣自治体で公園

が人工芝生化されてい

る例は。

田辺市。久御山町では

再整備において人工芝

生化する計画があると

聞く。

答 2ヘクタール以上

の大規模な公園では京

街区公園（小規模公  
園）を人工芝生化して

いる事例はない。

問 人工芝化に対して

補助金制度はあるか。

答 人工芝生化に特化

した補助制度はない。

問 町内公園で人工芝

化を行う考えは。

答 人工芝の破片の流

出による環境汚染や、

落ち葉などのゴミの日

常的な清掃が必要であ

り、管理者が常駐しな

い公園では維持管理が

困難。

コスト面の課題もあ

り、導入にあたっては

慎重に検討する必要が

ある。



公園の人工芝化を



木村 健太 議員

「住み続けたいまち」として  
選ばれるためには

高江企画財政課長

転出抑制や  
転入促進に向けて取り組む

**問** 若者の転出・転入の現状とその主な要因は。

**答** 直近の18歳から25歳までの転出数と、30歳未満の転入数は何名程度か。

**答** 男女ともに20代の転出が多く、進学や就学が影響している。

**答** 令和7年1月から12月までの18歳から25歳までの転出数は80名、30歳未満の転入数は157名。

男女ともに30代後半から40代の転入が多く、転職や結婚に伴うウターンや子育て世帯の移住等が要因と考える。

**問** 移住・定住相談などの際に町のメリット

としてアピールしている点は。

**答** 充実した子育て施策や教育環境、豊かな自然に恵まれた利便性と快適性が共存するまちであること、国道24号城陽井手木津川バイパスの整備やJ・R山城多賀駅前商業施設の誘致など将来性のある

まちであることをアピールしている。

**問** 近隣自治体と比べた際に、町が抱える課題はあるか。

**答** 若者や子育て世代が入居できる住宅が少なく物件探しが容易でない。

町内において若者や

子育て世代が働ける場所が少ない。

**問** 若い世代からの町に対する声について、本町の考えは。

**答** 住民アンケートや地域創生推会議などにおいて意見を聴取。

商工会青年部など若者世代の意見も聴き、施策に反映するよう努める。

**答** 令和8年度予算で新婚世帯向けの婚姻に伴う住宅取得費用や住宅リフォーム費用、住宅賃借費用、引越費用を対象とする補助制度や空き家の売買や賃貸借の際に要する仲介手数料等への補助制度に係る経費を計上。

今後、若者や子育て世代の移住や定住につながるような支援制度の充実させ、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりに積極的に取り組む。

**問** 町内での定住に繋がる「家賃補助」について、本町の考えは。



若者・子育て世代が安心して住み続けられるために



豊かな自然をアピールしています



鎌田 隆 宏 議員

### 「非認知能力」を高める取組は

中田教育長

#### 一体的な育成について研究

**問** 幼児期に「非認知能力」を高めるための本町の取組は。

**答** こどもが遊びを通じ、言語・数量等の感覚などの「認知能力」と、想像力・忍耐力・共感性などの「非認知能力」を共に育むことに加え、総合的な成長を支える保育活動に取り組んでいる。

**問** 「非認知能力」について本町の考えは。

**答** 他者と関わる経験の中で「非認知能力」の向上を目指す。「認知能力」と「非認知能力」の一体的な育成について研究を深めている。

**問** 「認知能力」と「非認知能力」の育成を両立させる取組は。

**答** 子供たちが主体的に考える機会を意図的に設定。

幼児教育からの学びの連続性を重視し、保・小・中が連携して「認知能力」と「非認知能力」を一体的に育める体制づくりを推進する。



遊びや親との関わりを通して育まれる非認知能力

### 災害時の保護者との連絡は

花木住民福祉課長  
北川学校教育課参事

#### 保護者連絡用アプリを活用

**問** 保育園における防災教育と避難訓練の内容は。

**答** 災害時発生対応マニュアルに基づき、各園で避難訓練を実施。訓練後、スライドによる防災教育を行っている。年2回、井手分署の消防士立ち合いのもと訓練を実施している。

**問** 災害発生時の保護者との連絡方法は

**答** 本年1月に「保育ICT推進事業」として導入した「ゴドモン」の連絡機能を活用していく。

**問** 小・中学校の避難訓練の内容は。

**答** 町内小・中学校で

策定している防災計画等を基に、学期毎に1回、水害や火災、地震等を想定した訓練を実施。

**答** 保護者連絡用アプリ「teturu」や学校ホームページを活用する。

**問** 災害時の給食センターの活用は。

**答** 「食料の集散拠点」「炊き出し予定施設」として位置づけ、大規模災害時には、食料提供拠点として活用する。

また、中学校では、休み時間の災害発生を想定した訓練も実施している。

**問** 災害発生時の保護者との連絡方法は。



食料の提供拠点となる給食センター

## 産業厚生常任委員会報告

### 「井手町特定乳児等通園支援事業の運営に 関する基準を定める条例制定の件」

委員長 鎌田 隆宏

3月13日に4名の委員全員出席のもと、町長並びに副町長、関係者の出席を求め審査を行いました。

採決の結果、「賛成多数」で、「原案のとおり可決すべきもの」と決しました。

令和8年4月から、全国全ての自治体で「こども誰でも通園制度」が実施されるにあたり、子供の良質な成育環境を整備・支援するため、新たに条例が制定されることになりました。

委員からは、令和8年度から開始となるこの事業の制度概要や目的、利用時のメリット、12月定例会で審議した条例との違いなどについての質疑がありました。



新規条例の審査が行われました

## 産業厚生常任委員会報告

### フレイル予防事業

### 「はつらつ元気講座」について

委員長 鎌田 隆宏

1月22日に、委員会を開催しました。

「筋肉は裏切らない」と言われています。

老人福祉センター（賀泉苑・玉泉苑）で健康を維持・増進するフレイル予防事業として、トレーニングマシンが設置され、「はつらつ元気講座」が開催されています。

高齢になると膝痛や転倒などの予防に筋力をつけるため、無理のない習慣化が出来ればと話がありました。

専門の指導員が椅子を使用したり自宅でもできる体操のほか、トレーニングマシンの使い方を分かりやすく指導されています。

行政からの説明を受け、参加された人数、利用された男女の割合、対象となる年齢体操の効果などについて質疑応答を行いました。

何歳になっても適度な運動で筋力は向上することから、



「はつらつ元気講座」の様子

# 議会の主な公務（令和8年1月から3月まで）

## 1月分

日	曜日	公務内容	出席議員
1月9日	(金)	令和8年第1回京都市町村議会議長会議	奥田議長
1月10日	(土)	部落解放同盟井手支部荊冠旗開き	奥田議長
1月11日	(日)	井手町消防出初式	奥田議長（全議員対象）
		令和8年井手町二十歳のつどい	奥田議長（全議員対象）
1月14日	(水)	井手町営住宅等入居者選考委員会	奥田議長
1月15日	(木)	椿坂公園東屋竣工に伴うお披露目式	奥田議長
1月18日	(日)	第20回井手町マラソン大会・第34回ジョギング大会	奥田議長（全議員対象）
1月19日	(月)	城南衛生管理組合議会 常任委員会合同視察	岡田議員・谷田健治議員
1月20日	(火)		
1月22日	(木)	第1回井手町旧庁舎あり方検討会議	奥田議長・脇本議員
1月25日	(日)	荒巻隆三氏第84代議長就任祝賀会	奥田議長
1月27日	(火)	例月監査	岡田議員
1月30日	(金)	城南衛生管理組合議会議会 議会運営委員会	岡田議員
		城南衛生管理組合議会 廃棄物（ごみ・尿）処理常任委員会事前説明	谷田健治議員
		京都市議会・市町村議会正副議長研修会	奥田議長

## 2月分

日	曜日	公務内容	出席議員
2月2日	(月)	井手町国民健康保険運営協議会（第2回）	奥田議長
2月5日	(木)	京都市後期高齢者医療広域連合議会（2月定例会）全員協議会	木村議員
2月6日	(金)	市町村トップセミナー	奥田議長
2月9日	(月)	城南衛生管理組合議会（2月定例会）開会日	岡田議員・谷田健治議員
2月12日	(木)	城南衛生管理組合議会 廃棄物（ごみ・尿）処理常任委員会	谷田健治議員
2月13日	(金)	城南衛生管理組合議会議会総務常任委員会	岡田議員
2月16日	(月)	井手町立学校給食センター運営委員会	谷田利一副議長・脇本議員
2月18日	(水)	城南衛生管理組合議会 予算特別委員会	岡田議員
2月20日	(金)	町村議会議長会第76回定期総会	奥田議長
2月21日	(土)	京都地方税機構議会（2月定例会）全員協議会・本会議	小割議員
2月22日	(日)	第34回京都市消防大会	奥田議長
2月25日	(水)	例月監査	岡田議員
2月26日	(木)	令和7年度通学路安全推進会議合同点検及び対策会議	奥田議長・脇本議員

## 3月分

日	曜日	公務内容	出席議員
3月8日	(日)	井手町解放文化祭	奥田議長（全議員対象）
3月10日	(火)	井手町営住宅等入居者選考委員会	奥田議長
3月13日	(金)	泉ヶ丘中学校 卒業証書授与式	奥田議長（全議員対象）
		井手町交通対策協議会	奥田議長・谷田利一副議長
		井手町環境審議会	奥田議長・谷田利一副議長
3月19日	(木)	井手小学校 卒業証書授与式	奥田議長（地元議員も）
		多賀小学校 卒業証書授与式	谷田利一副議長（地元議員も）
		城南衛生管理組合議会 議会運営委員会	岡田議員
3月22日	(日)	第27回ふれあい福祉まつり	奥田議長
3月25日	(水)	例月監査	岡田議員
3月27日	(金)	城南衛生管理組合議会（2月定例会）閉会日	岡田議員・谷田健治議員

# いでたんが聞く



新米記者いでたんが町に出かけて、まちのこいろいろ聞いてみます。  
今回は令和7年5月から民生関係の参与に就任された  
片岡美佳さんにインタビューしました!

お仕事のこと・個人的なこと、  
いろいろ聞いてみました!



これまでどのようなお仕事をされてきましたか。

大学卒業後京都府に入庁し、税、広報、産業振興、高齢福祉、子育て支援、広域行政、大学政策、職員採用など様々な業務に携わってきました。

中でも一番思い出深いのは、健康福祉部にいた時に発生した新型コロナウイルス感染症対策です。



日々どのような業務に取り組まれていますか。

民生担当の参与として、子育て支援や保健医療、福祉、健康づくりなどの業務に携わっています。



今後、井手町がどのような町になって欲しいと考えておられますか。また、何か良いアイデアがあれば教えてください。

自然豊かで美しいまちを維持していくために、まちの魅力をもっと多くの人に知ってもらい、見に来てもらい、気に入ったら住んでもらえるような取組ができればと思っています。



町民の皆さんに向けての挨拶をお願いします。

京都府を退職後、昨年度から井手町で働き始めました。川のせせらぎと鳥のさえずりを聞きながら、玉川沿いを歩く時間は至福のひとときです。

この素晴らしいまちを維持発展させていくためのお手伝いができればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



参与を引き受けられた決め手は何ですか。

京都府での経験を活かして、地域の活性化に貢献したいと思ったからです。



実際に井手町で働かせてみて、印象が変わったところは何かありますか。

緑豊かな環境や人の温かさなど、地域外の人にはあまり知られていない魅力がいっぱいあるところです。また、新鮮な野菜や果物が安く手に入る場所も魅力的です。

着任後は、周囲の人に井手町のよいところをPRしています。



他の自治体にはない井手町の強みは何だと思われますか。

都市近郊にありながら、美しい自然に囲まれ、静かに暮らせる場所。



こっそり聞きました・・・片岡参与はどんな人?

- 好きな食べ物は…果物、ナッツ
- 座右の銘は…しなやかに したたかに
- 休日の過ごし方は…買い物、料理
- 趣味は…スキー、読書、映画鑑賞
- 特技は…早歩き

取材協力ありがとうございました!!